

< 報告 > キルギスの漢字教材『漢字物語』

著者	ヴォロビヨワ ガリーナ
図書名	世界の漢字教育 : 日本語漢字をまなぶ : 国立国語研究所第8回NINJALフォーラム
ページ	48-57
発行年	2017-01-20
シリーズ	NINJALフォーラムシリーズ ; 6
URL	http://doi.org/10.15084/00000941

キルギスの漢字教材『漢字物語』

キルギス共和国ってどんな国

皆さん、こんにちは。ガリーナ・ヴォロビヨワと申します。キルギスからまいりました。このように自己紹介をすると、相手の日本人は、多くの場合、「ああ、イギリスね」「すいません。イギリスではなくてキルギスです」「ギリシア?」「いいえ、ギリシアではなくてキルギスです」「ああ、キリギリス」と。いまでも友人たちは、私がキリギリスに住んでいると信じているそうです。キルギスはあまり知られていないので、ちょっとだけ国の紹介をさせていただきます。

キルギス共和国は中央アジアに位置している旧ソ連の十五諸国の一つの国です。一九九一年に独立しました。図1の左上に国旗と国章を、右下に、キルギスの民族衣装と昔遊牧民族だったキルギス人が使ったフェルトの組み立て式の家を示します。キルギスの北はカザフスタン、西はウズベキスタン、南はタジキスタンと中国です。キルギスはとてもきれいな国で、中央アジアのスイスと呼ばれています。人口は約五百万



図1 キルギス共和国



ガリーナ・ヴォロビヨワ (Galina VOROBEOVA)

元キルギス国立総合大学上級日本語講師／国立国語研究所共同研究員。博士(日本語教育研究)。2000年から2004年までキルギス日本語教師会会長を務める。専攻は数学、研究分野は漢字教育である。著書は『漢字物語』(キルギス、ビシケク、2005年)、「An Analysis of Efficiency of Existing Kanji Indexes and Development of a Coding-based Index」(共著 OPEN JOURNAL SYSTEMS: Acta Linguistica Asiatica, Vol. 2, No. 3, pp.27-59, Slovenia, University of Ljubljana, 2012)、『構造分解とコード化を利用した計量的分析に基づく漢字学習の体系化と効率化』(東京、ノースアイランド、2014年)など。

ガリーナ・ヴォロビヨワ

人、面積は日本の約半分、二十万平方キロメートルほどです。首都はビシケクです。国語はキルギス語、公用語はロシア語です。

キルギスの漢字教育の問題点

キルギス共和国での日本語教育は、キルギスが旧ソビエト連邦から独立した直後の一九九一年に始まりました。現在は十六校の教育機関で日本語教育が行われ、学習者数は約七百八十人です。日本語講師数は四十六人で、そのなかの三〇パーセントぐらいが日本人講師です。キルギスの漢字教育には他の国と同じようにいろいろな問題があります。キルギスの漢字教育の主な問題点は次のとおりです。

まず、漢字教材の不足です。また、教師の教授法の知識不足です。一斉授業では主に文法や会話に時間を使うため、漢字指導の時間に制約があります。そして、主な学習法は、丸暗記です。

私の今日の報告のテーマは教材作成です。いい教材を作るためにはまず、漢字学習にどんな問題があるかを詳しく分析することが必要だと考えました。漢字学習の十六点の問題点を確定して、三つのグループに分類しました。加納先生はここですでに詳しく問題点についてお話しなさいましたから、そのテーマに少しだけ触れることにします。

第一のグループは、漢字そのものに内在する問題です。学習すべき漢字の数が多く、漢字の字体が複雑です。一つの漢字を覚えるとき、個々の漢字にかかわる情報が多く（形、意味、読み方、筆順、部首、熟語など）、同時にたくさん覚える必要ありません。そして、形、意味、読み方のあいだの関連性がわからないということも

あって、音訓読みも複数存在しています。

第二のグループは、教授法の問題です。現場で多くの場合丸暗記を基盤とする非体系的な指導法が行われています。漢字の学習配列は合理的ではないこともあります。たとえば、簡単な漢字が複雑な漢字のあとに出て、複雑な漢字の構成要素も、その複雑な漢字のあとで教えることがあります。もう一つ、漢字指導時間の制約があります。多くの場合授業が終わる前に教師は、「じゃあ、もう時間がなくなつたので、漢字は家で自分で覚えなさい」ということがあります。そして今、コンピュータとインターネットの時代になっているにもかかわらず、ICTは漢字の指導であまり使用されていないことです。

第三のグループは、学習者の漢字認識の問題です。非漢字圏の日本語学習者は、アルファベットなどに慣れていて、随分異なる漢字を非体系的に感じています。ロシア語のキリル文字やローマ字と比べたら漢字は形が複雑で、どの順番に辞典で並べてあるか、どのように調べるかわかりにくい文字です。たとえば、アルファベットやキリル文字を覚えるともう一生忘れませんが、漢字を一時的に覚えても定着できないことが少なくありません。また、漢字辞典の調べ方が難しく感じます。たとえば、ロシア語の辞典では、単語はキリル文字の順番で調べますが、漢字には、音訓索引、総画索引、部首索引などがあるため、非漢字圏日本語学習者にとって使いにくいのです。

連想記憶法に基づく漢字教材の開発

漢字学習の問題を分析したあとで、私は連想記憶法に基づいた二冊

の教科書を執筆しました(図2)。「漢字物語Ⅰ」は、初級Ⅰレベルの教科書で、漢字が二百二十字はいつています。「漢字物語Ⅱ」はヴィクトル・ヴォロビヨフと共同で作成しました。初級Ⅱレベルの教科書で、漢字が二百九十八字はいつています。漢字学習は非漢字圏の人にとつてとても難しいものなのでできるかぎり、楽しく学習させるための工夫をしました。タイトルを『漢字物語』にして、表紙を見ると『源氏物語』が思い浮かぶようにしました。それは学習者に親しみを持たせるためです。

表紙をできるかぎりきれいにすることは重要だと思ひます(図2)。この表紙には、紫式部と光源氏を見ることができまふ。でもよく見る



図2 『漢字物語』



図3 漢字の由来

と、紫式部のうしろに彼女の影があつて、源氏の下に『漢字物語』と書いてあります。これも学習者を喜ばせるのための工夫です。学習者が漢字を難しく感じないように、最初の段階で、漢字は楽しい、漢字はおもしろいということを示すために、図3のような写真を入れました。この写真には何が見えるでしょうか。

犬の足跡、人間の足跡、鳥の足跡ですよ。それは漢字の由来のストーリーです。古代中国の蒼頡(ツツヅク)という人は、湖岸に出て、いろいろな動物と鳥の足跡を見て、次のように考えました。「いま鳥も犬も人もいないけど、私は何がいたか、誰がいたかわかるから、いろいろな物事は、何かの文字で表すことができるのではないだろうか」。そう考え


	N 517	意味 остров	語例 半島 (はんとう) 半島остров 列島 (れいとう) 列島архипелаг 諸島 (しよとう) 諸島острова, 無人島 (むじんとう) 無人島архипелаг 無人島необитаемый остров	
	N 480			
	読み 山 46	音読み トウ		
	2 級	訓読み しま		
画数 10	筆順 LBHAAAGBEB	島 (しま) 島国 (しまくに) 広島 (ひろしま) 宮島 (みやじま)		полуостров архипелаг острова, архипелаг необитаемый остров островная страна г. Хиросима о. Миядзима
鳥 + 山 → 島				
<p>Иероглиф「島」 объединяет「鳥」и「山」. В нижней части иероглифа вместо ножек птицы (一) изображена гора (山). Это остров, возвышающийся посреди моря, на котором отдыхают перелётные птицы.</p>				
<p>「島」は「鳥」と「山」を合わせた字です。鳥の足 (一) の代わりに山が描いてあります。それは渡り鳥が休む海の平の山で、周りを水で囲まれた小さい土地です。</p>				
メモ				

図4 『漢字物語』抜粋

て、漢字作りをはじめました。このような漢字の由来を学習者に紹介すると、「ああ、これは必要な、歴史的な文字だ。おもしろい文字だ。私たちの文字と違うが、とても大事な文字だ」と考えるようになると思います。

図4は、『漢字物語』の一ページの例です。ここに漢字そのもの、画数、意味、読み、部首、部首番号、ロシア語訳が付いている語例、日本語能力試験のレベルがありますが、中心になっているのは漢字成り立ちのストーリーです。たとえば、「鳥」は、「鳥」と「山」を合わせた字です。鳥の足のかわりに山が描いてあります。それは渡り鳥が休む海の中の山で、周りを水で囲まれた小さい土地、つまり「島」です。学習者はこのストーリーを読むと、漢字の形と意味を早く覚えて、ずっと覚えていて忘れません。

図4の黄色いアルファベット文字の列は、筆順を示しています。多くの場合は筆順を表すために、何回も文字に一つのストロークずつ加えながら書き直しますが、『漢字物語』では工夫して筆順をアルファベットの列で表しました。漢字のアルファベット・コード化について少しあとで説明します。他のストーリーの例も紹介します。たとえば、図5の「化」は立っている人「イ」と座っている人「ヒ」の二人の違う姿で変化を表します。つまり「座りました、立ちました。立っていて、また座りました」。そのあとさまざまな変化を表す漢字になりました。また、図6には漢字「弱」のストーリーがあります。「弱」は二羽の小鳥の絵です。小鳥は弱いですから、いつも一緒にいます。このストーリーも学習者にとって覚えやすく忘れにくいです。

『漢字物語』は二〇〇五年からキルギス日本センターの授業で使いは

じめました。その教科書は現在、キルギスだけではなく、ウズベキスタン、カザフスタン、タジキスタン、ロシア、日本などの国で使用されています。

漢字の指導法

効率的な漢字学習にとって漢字の指導法も重要です。私の専攻は数学のため、漢字を体系的に教えるような方法がないかと考えていました。私が日本語学習者だったときから、漢字を構成するストローク（漢字の画）の種類と数を知りたかったです。でも聞いた先生の中で誰も説明できませんでした。そこで、自分でその漢字を分解してスト

「化」は立っている人「イ」と座っている人「ヒ」の二人の違う姿で変化を表します。

図5 漢字を覚えるための物語（ストーリー）の例1

「弱」は二羽の小鳥の絵です。
小鳥は「弱い」ですから、いつも一緒にいます。

図6 漢字を覚えるための物語（ストーリー）の例2

A	一	B	丨	C	乚	D	ㄣ	E	乚
F	冫	G	冫	H	冫	J	丿	K	㇏
L	ノ	M	ㄣ	N	ㄣ	O	ㄣ	P	ノ
Q	、	R	乚	S	、	T	ㄣ	U	ㄣ
V	ノ	W	乙	X	へ	Y	ㄣ	Z	ㄣ

図7 漢字の画の種類

A	B	C	D	E
F	G	H	J	K
L	M	N	O	P
Q	R	S	T	U
V	W	X	Y	Z

図8 漢字の画の種類

- ◆片仮名は漢字の一部
- ◆片仮名と漢字の共通の画
例 伊→イ 宇→ウ 江→エ
- ◆片仮名と漢字に含まれる画 15種類
{一丨ㄣㄣㄣㄣㄣㄣㄣㄣㄣㄣㄣ}
- ◆漢字のみの画 9種類
{ししくくうらし乙子}
- ◆片仮名のみの画 1種類
{へ}

図9 漢字と片仮名の画の分析

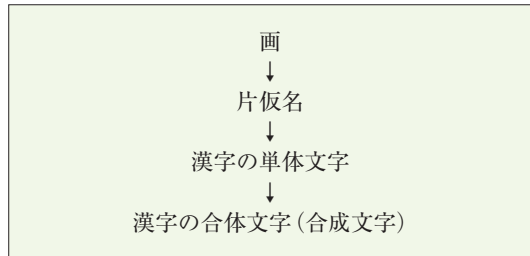


図10 階層的なアプローチに基づく画、片仮名と漢字の教育プロセス

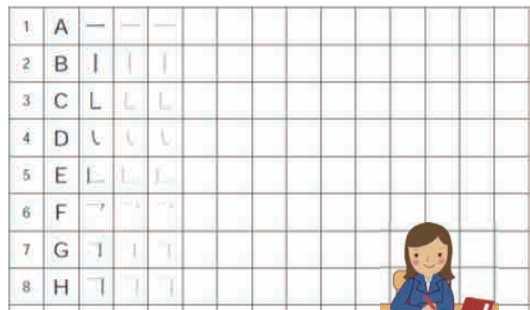


図11 画の練習シート

ロークを抽出しました。そしておかげ様で中国語の教科書でストロークの種類がはいっていた表を見ることができました。

ストロークの種類は全部で二十四種類あることを確定したため、二十六字のローマ字を使って、各々のストロークにローマ字を付けることができました(図7)。そのときアルファベットの形からストロークの形が連想できるようにしました。つまり各々のストロークは当てはまるアルファベットの一部分です。たとえば、「一」に「A」、「丨」に「B」というアルファベット・コードを付けました(図8)。漢字のストロークのアルファベット・コードを筆順に従って並べると、漢字のアルファベット・コードができます。そのコードで漢字の筆順を表すことができました。島の筆順を表したアルファベットの列を皆さんは

もう御覧になりました(図4)。このような筆順の説明を実際にしたとき学習者にとって分かりやすかったことが分かりました。

漢字入門を分かりやすくするためにもう一つのアイデアを生み出しました。皆さんもご存知のように、片仮名は漢字の一部を使って作られた文字です。そのため、片仮名と漢字のストロークの中に共通のストロークがあります。図9での赤の文字は、どの漢字から片仮名ができたかという例を示しています。分析した結果、片仮名と漢字に含まれるストロークは十五種類あります(図9)。漢字だけで使用されているストロークは、九種類です。そして、「へ」というストロークは漢字では使用されていなく、片仮名のみのストロークです。

そこで、階層的なアプローチに基づくストロークと片仮名と漢字の

片仮名と同じ形をしている漢字

工、力、夕、二、口

片仮名を組み合わせた漢字

左、江、外、加、多、名、伝

図 12

Noam Chomskyは階層構造をセマンティックのレベルで言語学的記述するために使用している。

「The man hit the ball」という文の階層構造

漢字の階層構造の2段階：構成要素と画

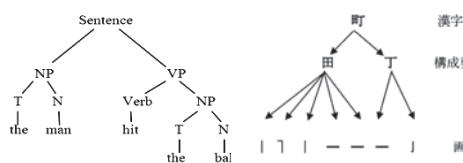


図 13

指導法を考えました。その教育プロセスは次の通りです。「画↓片仮名↓漢字の単体文字↓漢字の合体文字（合成文字）」（図10）。具体的には、さきにストロークを教えて、きちんと書かせて、そのあと片仮名を教えます。次に片仮名と同じ形をした漢字と簡単な漢字（たとえば、日、月）、その次には、合体漢字（合成漢字、組み合わせ漢字）（たとえば、日と月をあわせた「明」）を教えます。

ストロークをきれいに書かせるように練習シートも作りました（図11）。私はロシア語で使用されるキリル文字を覚えたとき、文字を書かせる前にその文字のエレメント（構成要素）を書かせられました。そのおかげでキリル文字の書き方が分かりやすくなって、きれいに書けるようになりました。同じアプローチを片仮名と漢字に応用しまし

た。ストロークを教えてから片仮名を教えて、それから片仮名と同じ形をしている漢字を教えます。たとえば、片仮名の工、力、夕、二、口です。次に片仮名を組み合わせた漢字、たとえば、左、江、外、加、多、名、伝を教えます（図12）。実際にこの方法を使ったとき学習者は努力せずにいくつかの漢字の書き方をすでに覚えていることにとっても喜んでいました。片仮名と漢字の形の類似点を説明することで、漢字初歩が楽になります。

漢字の構成

次に、漢字の構成についてお話しします。アメリカの言語学者のチヨムスキーは、英語の文を階層的に分解して分析しました（図13）。私はその方法を漢字に応用しました。漢字は二つの段階に分けられる要素、つまりエレメントからできています。それは意味的な構成要素と意味のないストロークです。たとえば、「町」という漢字は、「田」と「丁」という構成要素からできています。その構成要素をもっと分解すると、ストロークになります。学習者にとって、このように分解された漢字は分かりやすくなります。漢字は怖い塊ではなくて、エレメントからできている文字です。そのエレメントの意味を知っていたら、ある程度全体の漢字の意味も予測できます。そして、漢字のエレメントであるストロークの書き方を覚えると、漢字もきれいに書けるようになります。

漢字の構造分解の方法を二つ考えました。一つは、線形構造分解、つまり、エレメントを一つの列に並べる方法です。漢字「露」は、

「雨」、「足」、「久」、「口」のエレメントからできています(図14)。そして他の方法でも同じ漢字を分解できます。それは階層構造分解です(図15)。その方法の特徴は、漢字をすぐ一番細かいエレメントに分解しません。たとえば、漢字「露」を最初に「雨」と「路」、それから「路」を「足」と「各」に分解して、そのあと「各」も「久」と「口」に分解します。そうすると漢字「露」は第一層、第二層、第三層のエレメントからできることが分かります。つまり、漢字「露」の中に、一番細かい四つのエレメントだけでなく、ちよつと複雑な中間漢字もはいっています。階層構造分解は漢字の構造を分かりやすくして、意味の理解の手助けになると思います。

漢字を覚える方法と手段

漢字の指導法にはさまざまな漢字を覚える方法と手段があります。たとえば、字体と意味を覚える連想記憶法としてすでに漢字「島」の例をあげました。そして、字体と筆順を覚えるための唱えことば、漢字字体の意味、読み方などを覚えるためのコンピュータソフトなどについてちよつと詳しくお話しさせていただきます。

私は一年生のころ日本語を教えていただいた萩原幸子先生に、漢字「熊」を覚えるための次の唱えことば「む、つき、ひ、ひ、とん、とん、とん、とん」を教えていただきました。漢字「熊」と同じように字体が複雑な漢字に構成要素としてはいつている簡単な漢字と片仮名とストロークを漢字の筆順に従って言うと言った漢字の「唱えことば」ができます。私は「熊」の唱えことばを教えていただいたおかげで字体が複雑なその

露 = 雨 + 足 + 久 + 口

図14 漢字の線型構造分解

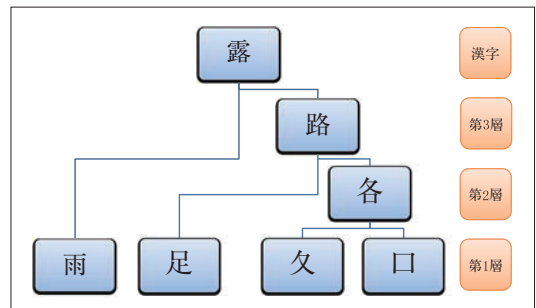


図15 漢字の階層構造分解
露 = 雨 + 路(足 + 各(久 + 口))

漢字は、一生忘れられません。もつと簡単な漢字はもう忘れちゃったけど……。さらに漢字を覚えるために「マインドマップ」、「概念の地図」などいろいろな学習法があります。そして「漢字学習ストラテジー」のリストも作成され公開されています。

そして、さまざまな漢字学習用のソフトが作成されています。それをインターネットで見えることもできるし、買うこともできます。たとえば、『KanjiGold』というソフトは、漢字の意味や形を覚えたり、漢字の知識をチェックしたりする際に使えます。漢字成り立ちを紹介するアニメーションや筆順を示すソフトもインターネットにあります。

次に、ドイツの元大学準教授山田ボヒネック先生が開発した『KanjiKreativ』という、ソフトを紹介します。そのシステムは二段

階含んでいます。まず、旧常用漢字千九百四十五字を分解によって二百八十の構成要素（パーツ）を抽出して、それをアニメーションで学習者に視覚的に覚えさせます。つまり、漢字を習得するために学習者の頭の準備をしてから、次に漢字をエレメントから作ります。エレメントを加えながら、増分式で体系的に漢字を覚えさせるといようなアプローチです。そのソフトはドイツ語で作られています。

学習意欲を高める手立てのモデル

注意 (Attention) 「おもしろそうだな」
 関連性 (Relevance) 「やりがいがありそうだな」
 自信 (Confidence) 「やればできそうだな」
 満足感 (Satisfaction) 「やってよかったな」

図 16 ARCS 動機付けモデル

例 注意 (Attention) に関するヒント

「目をぱっちり開けさせる：

A-1：知覚的喚起」

「好奇心をたいせつにする：

A-2：探求心の喚起」

- ・『千話一話漢字物語』という名前は『千夜一夜物語』（『アラビアン・ナイト』）にたとえる→興味を持たせる。
- ・『漢字物語』と『源氏物語』は音が似ている→いい気持ちを与える。



図 17 『千話一話漢字物語』

四種類の新しい教材の開発

次に、すでに開発された教材と、計画している教材についてお話をさせていただきます。

第一 教科書『千話一話漢字物語』についてです。まず、ARCS (Attention, Relevance, Confidence, Satisfaction) 動機付けモデルの話をします(図 16)。教材を開発するに当たって ARCS 動機付けモデルは手助けになります。ARCS 動機付けモデルは、ケラーと鈴木によって開発されたモデルです。注意 (Attention) は本屋さんか図書館で見ている本に対する「おもしろそうだな」という感想を表します。関連性 (Relevance) は「やりがいがありそうだな」ということを表します。そして、自信 (Confidence) の意味は「やればできそうだな」。さらに、満足感 (Satisfaction) というのは「やってよかったな」という意味です。

私が作成した教科書『漢字物語Ⅰ』と『漢字物語Ⅱ』には、漢字が約五百字入っています。いま目指している教科書は、『千話一話漢字物語』で、千字くらい含めるものです(図 17)。ARCS 動機付けモデルをもとに、教科書の構成と内容を考えています。たとえば、注意 (Attention) に関するヒントの中に A1「目をぱっちり開けさせる」や A2「好奇心を大切にする」というヒントを参考にします。本屋さんか図書館に行く人の知覚や探求心を喚起するような教材が魅力的な教材だとされています。その A1 と A2 に従って以下のような工夫をします。『千話一話漢字物語』という名前は、『千夜一夜物語』、つまり『アラビアン・ナイト』にたとえて、興味を持たせると期待しています。

そして、『漢字物語』と『源氏物語』は音が似ているので、人にいい気持ちを与えることも期待しています。

ところで、教科書にはいつている漢字の順番はとても重要です。合理的な順番を考えて、意味的なグループを作ったほうがよいと思います。しかし、意味的なグループを作ると簡単な漢字と一緒に複雑な漢字もはいります。だから、エレメントの意味から全体の漢字の意味が予測できるように複雑な漢字と一緒に、そのエレメントを教える必要があります。

数字を表す漢字を見てみましょう(図18)。数字の中に主に簡単な漢字がはいっています。『三』と『四』と『六』と『百』という漢字はそれぞれ二つの構成要素からできて、組み合わせ漢字であり、複雑な形をしています。その四つの組み合わせ漢字に『一』、『二』、『く』がまえ『口』、あし『儿』、なべぶた『土』、『八』、『白』という部首になっている構成要素がはいっています。それも一緒に教えることが必要だと考えています。

人間の漢字はほとんど簡単ですが、漢字『男』だけが組み合わせ漢字です(図18)。「男」の構成と意味を覚えるために一緒に二つの簡単な漢字を教えたほうがいいです。それは「田」と「力」です。構成要素を考慮して漢字をよく覚えさせるために次のストーリーを使うことができます。「男は力を使って田を耕しているのです」。

第二 デジタル漢字教材になる世界観の漢字意味ネットワークをご紹介します(図19)。漢字の二十二の意味的グループを確定して、二千百九十三の漢字をグループに分類しました。デジタル漢字教材を作成中です。その利用者は世界観の漢字意味ネットワークの樹形図か

グループ名	漢字	一緒に教える含有する構成要素		グループの中の合体漢字
		部首	準部首	
数字	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 百 千 万	一 二 口 儿 十 八 十 白	五 七 九 千 万	三 四 六 百
人間	人 女 力 男 母 父 子 口 目 耳 手 足	人 女 力 田 母 父 子 口 目 耳 手 足		男

図18 漢字の意味的グループの例

ら学習対象漢字が自由に選択できます。ハイパーリンクを利用して、選択した、漢字の意味的グループに移動できます。

第三 教材『コンピュータ日本語』を紹介します。今年作成された『コンピュータ日本語』は、日本語を第二外国語として学ぶコンピュータを専攻している大学生を対象とした教材で、中心は漢字表記になっています。漢字のアルファベット・コードを含むコンピュータ用語辞書もはいっています。また、日本語表記学習用ソフトの紹介と記述もはいっています。その中に仮名の学習、漢字の筆順の習得、漢字の意味と読み方の練習、漢字テスト、漢字の成り立ちのアニメーションな

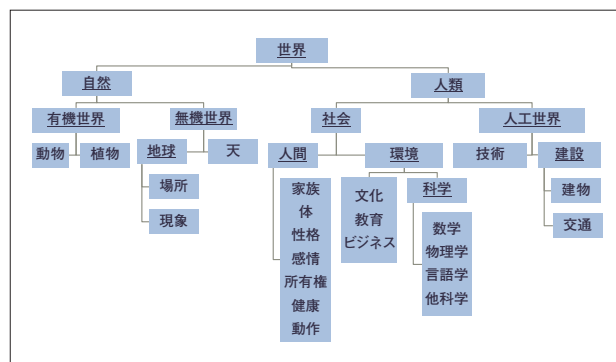


図19 世界観の漢字意味ネットワーク

どのソフトがはいっています。その教科書は以前紹介した階層的なアプローチに基づいています。

第四 ロシア語で作成した漢字指導の手引きを紹介します。それは、キルギス国立総合大学コンピュータ技術・インターネット学部の日本語サイトに公開しました。私が今日話したことの多くは、その手引きにはいっています。手引きをいつか日本語に翻訳して、日本語でも公開する予定です。

まとめ

キルギス共和国は大きくなくて、世界であまり知られていない国ですが、そこでも日本語教育が盛んに行われています。そして漢字教育の体系化と効率化をするため、漢字教育研究が行われていて、それに基づき、非漢字圏の国の日本語学習者の考え方に相応しい漢字教材や教授法が開発されています。ご清聴ありがとうございました。

